

岩山漆芸美術館の閉館について

11月10日、13日の盛岡市議会全員協議会での話し合い内容メモ 文責 伊勢志穂

- 全岩山漆芸美術館長は目黒雅叙園の修復の際に川井村を訪問し、旧箱石小学校で制作を行った。その後、川井村は1億1120万円（国庫補助5600万、県補助1121万、起債と一般財源4399万円）で薬師塗漆工芸館をつくり、全氏は名誉館長に就任。また、川井村は全氏の作品106点を約5000万円で購入した。
- 目黒雅叙園の修復を引き受けたのは公募→プレゼンの結果であるし、岩手でも韓国でも工芸賞を取り文化院の展示会には以前から参加している。また、8月1日の漆芸美術館オープンの際には韓国大使、総領事も来賓として参加した。
- 今回のことは、犯罪の要件にはならないと弁護士に言われた。民法上の問題にはなる。
- 8月1日から3ヶ月間の入場者は7600人。
- オリエンタルトレジャー社は9月から休業中。
- 8月からの賃貸料金が盛岡市に対して支払われていない。
- 賃貸契約の保証金も支払われていない。
- 保証金は入金していなかったが、8月1日にオープンするという日程があった。
- 連帯保証人はいるが信用検査をやっていない。
- 保証金が支払われない段階でも賃貸を行ったのは、今までも全館長に同一の建物を貸してきたから。使用貸借から賃貸借に変わるという認識で、貸借自体が継続していたので支払える時期でも良いとした。
- 旧橋本美術館である建物の解体は検討していない。全氏との契約実行の手だてを模索中。
- 新しく人を雇うということで、ふるさと雇用補助金320万円を前渡ししていたが、職安で公募したけれど適格者が見つからなかった。
- その、前渡し金は返してもらっていない。早急に返還を要求する。
- 補助金の前渡しは受託者の請求に沿って行った。
- 電気設備と消防設備の整備にかかった1080万円は、旧橋本美術館であった建物の維持・存続のため行ったこと。「破綻が歴然としている事業に突っ込んだ」訳ではない。
- 今までの入館者実績

8月	9月	10月	昨日まで	トータル
3252人	2187人	1863人	719人	8021人
- ペ・ヨンジュン氏が今後、漆芸美術館とどう関わるかは不明。現在、キーイースト社に問い合わせている。
- キーイースト社との接触は下記の通り
4月に「市の幹部と話をする」と盛岡市役所にいらした。
オリエンタルとレジャー社に出資する予定である旨はメールが来た。
開館直前に社長が変わった。
開館日に新社長と氏の担当が名刺交換をした。
10月11日に「提携が壊れた」と全館長から話をされた。